



5月の園だより

こぶし保育園
2026年5月1日発行
園長 小林 祥子

新年度がスタートし、早くも1ヶ月が経ちました。

入園当初は「泣いてないかなー」と保護者も不安だった事と思います。

0歳児の子ども達8名は日に日に先生の顔を覚えニコニコ顔でミルクを飲む姿が見られます。

1歳児・3歳児の子どもたちも在園児の姿をジーっと見つめ、模倣し、少しずつ慣れてきては自分の居場所を見つけ遊び、日に日に先生や室内の環境にも慣れてきて笑顔が見られてきました。園庭では【この虫なあに?】と興味津々の子ども達ですが、暑さに身体が慣れていないため、体調に留意し徐々に暑さに慣れ、遊びを楽しみたいと思います。外気浴が気持ちの良い季節になったかと思うと暑くて外に出られない時もあります。

園庭に少しでも出られるようにネットを張って太陽の日差しを抑え、園庭に水を撒き、少しでも涼しい環境と、園庭遊びが楽しめるような環境を整えていきたいと思います。

暑い季節が今年もやってきますが、その前に汗をたくさんかいて体を整えていきたいと思います。

また、4月は3歳・4歳・5歳の保護者会を開催し、年間の保育運営を伝えさせていただきました。

お忙しい中、保護者会に参加いただきましてありがとうございました。保育園と保護者・地域の方と一緒に子どもを育てていきたいと思えます。

副園長 上田 洋子

5月5日 こどもの日の由来

こどもの日は中国発祥の「端午の節句」が日本に伝わり、男の子の健やかな成長を願う行事として広まり、1948年に「子どもの人格を重んじ、幸福をはかるとともに、母に感謝する日」として祝日になりました。この由来をこいのぼりや兜と行事食などを通して子どもたちにわかりやすく伝えていきたいと思えます。こどもの日には、柏餅を食べることも多いと思えますが、柏の木は新しい芽が出るまで古い葉が落ちないことから「家を継ぐ子どもが生まれるまで親も元気に過ごせる」として子孫繁栄の意味で定着したという事です。日本独自の風習ですが、お隣の中国では厄除けとしてちまきを作ります。

子どものつぶやき

卒園児の妹が5歳児クラスの担任に「次は赤ちゃんクラスなの?」と聞いてきたので、

「そうなのよー さくらんぼさんのよー」とお話をすると「え! 小学校に行けなかったの?」

「.....」担任もめろん組の一員だったのに卒園できなかったのね...と思われるようでした。

5歳児クラスのエピソード

「今日は、畑の土をきれいにして掃除をしたんだーよー」なんて綺麗にしたのー

「だって一植物を植えるからだよー」「いちごが汚かったから捨てて、いい土にしたんだー」

(いちごは卒園した年長さんが昨年植えた物)

「風が吹いてきて目に土が入りそうだったー」「みんなは風が吹いてきて、嫌だって部屋に入ってしまったけど僕は最後まで掃除したんだよー」頑張ったねー

所で何の植物を植えるの? 「まだ、先生とは話していないけど、きうり・レタス・インゲン・パプリカ・人参・トマト・フーセンカズラ・ナス・ピーマン・グリーンピース」等と思いつきの野菜を口にしていました。パプリカという名前が出てくると踊り出す子どもたち! でした。

さてさて、どんな野菜を植えて、育て、生長するのか楽しみですね。

5月の行事予定

- 1日(金) 子どもの日の会
- 12日(火) 保護者会(2歳児)
- 13日(水) 0歳児健診
書道(4・5歳児)
- 14日(木) 太鼓指導(5歳児)
- 16日(土) 運営委員会(第一回目)
- 18日(月) 保護者会(1歳児)
- 19日(火) 体操指導(2歳児～5歳児)
- 20日(水) 春の遠足
(4・5歳児お弁当持ち)
- 28日(木) 保護者会(0歳児)
- 29日(金) 避難訓練

6月の行事予定

- 1日(月) シャワー開始(全クラス)
- 2日(火) ジャガイモ掘り(4.5歳児)
- 4日(木) ジャガイモ掘り雨天予備日
- 10日(水) 水遊び前健診(3～5歳児)
書道(4、5歳児)
- 11日(木) 太鼓指導(5歳児)
- 16日(火) 体操(2～5歳児)
- 17日(水) 水遊び前健診(0歳～2歳児)
- 18日(木) 水遊び開始日
- 25日(木) 太鼓指導(5歳児)
- 30日(火) 避難訓練



運営委員会年間日程(地域の方と一緒に話し合いを行い、より良い保育園・地域作りを目指していきます)

- 5月16日(土) 10:00～11:15
- 9月26日(土) 10:00～11:15
- 2月6日(土) 13:30～14:45

給食のメニューについて

コドモンで日々のメニューが見られるようになりました!

「その他」のタブの「献立表」よりご確認ください。
掲示写真もコドモンでアップ致します。(園内掲示はなくなります。)

月の献立表は今まで通り配信いたします。

3歳児クラス保護者からの子育て奮闘記

一年前に行った旅行のふとしたエピソードを覚えていて驚いた。
日々の思い出を大切にしたいと思いました。

4歳児クラス保護者からの子育て奮闘記

人一倍人見知りの我が子は、初対面の子と接するのが大の苦手。先日、病院の待合室で、年下の子が我が子の持参した玩具に興味を示して近づいてきました。

いつもならすぐに別の場所へ逃げてしまいますのですが、その日は「これは〇〇だよ」と話したり、一緒に遊んだりしていました。保育園で仲良し当番をしている話を聞いていたので、きっとその効果なのだろうと感じました。初めて見る我が子の姿に驚くと共に、成長を実感しました。

まだまだ、人見知りですが、これからもなかよし当番やお友だちとの関わりを通して少しずつ成長してほしいなと思っています。

職員コーナー・・・職員に幼かった頃の思い出について語っていただきました。

① 私が幼かった頃

私の実家は農家で苺を作っていました。苺は一年中、手がかかり家を離れることが出来ず、家族旅行なんて行ったことがありませんでした。手伝いもいっぱいしました。摘んだり詰めたり、苺を市場に出荷する時に入れる箱も作ったり、とても大変な作業でした。大変でしたが、両親と話しながら手伝いをしていた時は、今思うととても幸せな時間だったと思います。また摘んだばかりの苺を好きに食べたり、売り物にならない苺を潰して、牛乳と混ぜお腹いっぱい食べたり、ジャムにしてもらい食べたりとても贅沢だったな。と思います。

私の子どもたちも、私の実家の苺を食べて育ったので、(私の両親が亡くなり、苺作りも止めてしまいました。)買った苺は、あまり食べたがらないです。

② 私の幼かった頃

私は、小学生の中学年頃にバスケットを始めました。何もわからない、知っている友だちも少ない中、不安もたくさんありましたが、少しずついろいろなことを覚えていく事で、楽しさを知り、バスケットが大好きになりました。

そしてその時の友だちは今でも繋がっていて、お喋りを楽しんだり、相談をし合ったり、大切な存在です。

私の両親は、“何か一つ、好きなことを見つけてほしい”といろいろな事に挑戦させてくれました。その中で私はバスケットが大好きになり、大切な友だちにも出会うことができました。

好きなことに会う経験をくれた両親に感謝しています。



掲示板の写真を見ていた小学生

先日、小学校3年生くらいの子どもが保育園前の掲示板の前で足を止め、カプラ遊びの写真をジーっと見つめていました。どうかした?と声をかけると「高く積んでいてすごいねー」と目を細めて話してくれました。懐かしさもあったのかもしれませんが、子どもが子どもの成長に共感できる地域なんだなーと思い嬉しく思ったひと時でした。

安全計画の報告

「訓練!地震です・訓練!地震です」の放送が入るとテーブルの下に隠れ、防災頭巾で頭を守る幼児の子どもたち。

「地震の時はテーブルも動くので、テーブルの脚も持ってねー」の言葉かけに手でしっかり持っていました。乳児の子どもたちも泣かないで職員の声掛けで、お部屋に中央に集まり、防災頭巾で頭を守りました。

進級して初めての避難訓練でしたが、放送を聞いて・職員の指示で安全を確保できた訓練でした。新入職員は、避難経路の確認・消火器の場所の確認・散歩リュックの中身の確認を実施しました。